

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372201067
事業所名	グループホーム若竹

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	町内会に加入している。回覧板や民生委員から地域情報を得て、地域や市の行事に積極的に参加しており、今年度も地域清掃活動や一宮市の七夕祭、地域の敬老会などに参加している。また、日々の散歩を通し近所との交流もある。法人内の他施設との合同活動を通し行き来があり、利用者同士の交流もある。ボランティアの訪問も定期的であり、利用者は楽しみにしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	運営推進会議は年に6回開催されており、利用者家族、民生委員、地域包括センター職員などが参加している。会議では地域情報を得たり、事業所の活動内容の報告をするほか、今年度は避難訓練を取り入れ、防災を考える場として活用した。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	市役所担当課には、入居条件や受け入れについて、即断できないことやわからないことがあれば、直接向かいで問い合わせるようにしている。そのため、担当課との関係が築かれ、密な連絡体制ができています。市が主催する研修には職員は出席している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	ホーム便りはないが、それにかわるものとして、利用者一人ひとりの家族に、事業内容やそれぞれの様子を記した便りを毎月送付している。電話連絡やメールで日頃から家族と連絡を取り合い意見・要望を開くようにしている他、計画書を見直すときには必ず時間をとって家族と話す時間を作り、要望を支援に組み込むようにしている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	○	○	○	○	○				